

井上道義の上り坂コンサート

10代のモーツァルト

ヴァイオリン協奏曲《第1～5番》全曲演奏

10月23日(土) 14:00 開演

- ・交響曲第29番 イ長調 Kv.201
 - ・ヴァイオリン協奏曲第1番
独奏:枝並千花
 - ・ヴァイオリン協奏曲第5番
独奏:梁美沙
- 管弦楽:桐朋学園オーケストラ



10月24日(日) 14:00 開演

- ・歌劇「見てくれのばか娘」序曲
 - ・ヴァイオリン協奏曲第2番
独奏:田代裕貴
 - ・ヴァイオリン協奏曲第3番
独奏:内山優子
 - ・ヴァイオリン協奏曲第4番
独奏:ダニエル・ギャリツキー
- 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- * (急告) 第4番にソリストとして予定しておりました岩谷祐之は演奏者の都合により出演が不可能となりました。代わってフランス在住のダニエル・ギャリツキー(22歳)が出演します。

円熟の空間に若きモーツァルトが躍動する



枝並千花



田代裕貴



内山優子



ダニエル・ギャリツキー



梁美沙

今年の「上り坂コンサート」はモーツァルトが10代で書き上げた作品を
若きソリスト5名が円熟の木のホールで演奏します

主催・お問い合わせ:神奈川県立音楽堂〔財団法人神奈川芸術文化財団〕

2004年、音楽堂は開館50周年を迎えます

神奈川県立音楽堂は、近代建築の巨匠ル・コルビュジエの薫陶を受けた前川國男の設計により1954(昭和29)年11月4日に公立としては日本初となる本格的コンサートホールとして開館しました。当時は「東洋一の響き」と称され、半世紀経つ今日まで、クラシック音楽における世界トップクラスの演奏家をはじめ、数千名のアーティストが舞台を飾っています。



開館当初の音楽堂

開館50周年にあたる今年、「シリーズ《円熟から明日へ》」と題し祝祭公演を予定しています。

8月8日	<委嘱作品>生田川物語 能「求塚」もとづく
8月17日～20日	音楽堂50年展[音楽堂が保存するポスター、プログラム等の資料を公開]
9月5日	大友直人=東京交響楽団 あっ! ベートーヴェン「運命と第九」
10月23日、24日	井上道義の上り坂コンサート 10代のモーツァルト ヴァイオリン協奏曲[第1～5番]全曲演奏
12月5日	園田高弘(ピアノ)・堤剛(チェロ) デュオ・コンサート
2005年2月20日	若杉弘指揮 東京室内歌劇場特別公演 パイジエッロ オペラ「美しい水車小屋の娘」

4回目を迎えた上り坂コンサート



本公演、「上り坂コンサート」は、若きソリストを迎え、ハイドンやモーツァルトなどの古典曲に新鮮な息吹きを吹き込むというコンセプトのもと、井上道義氏自らの命名で2001年に始まりました。これまでに、Vol.1(01年)では、イングリット・フリッター(Pf)、Vol.2(02年)では神尾真由子(VI)、Vol.3(03年)では菊池洋子(Pf)と、華々しい新星が音楽堂の舞台を飾っています。

10代のモーツァルト《ヴァイオリン協奏曲1～5番》全曲演奏

第4回となる今年のテーマは、『10代のモーツァルト』。ヴァイオリン協奏曲全5曲を中心に、2日間に渡る全ての曲目をモーツァルトが10代の時に残した作品でお届けします。

ソリストに迎えるのは、今まさに上り坂の機運にある内山優子、梁美沙、ダニエル・ギャリツキーと、桐朋学園大学からオーディションにより選ばれた枝並千花、田代裕貴の二人。

音楽堂開館50周年を祝した"小さなモーツァルト祭"に、どうぞご期待下さい。

【プロフィール】



どっちだろう？

モーツァルトの作品は、「人生」にも「演奏」にも十分経験をつんだ人に、よい演奏ができるものだろうか？

それとも、まだねじれていない若い人が演奏するほうが本筋か？

だって、たとえ天才といえどもアマデウスが曲を書いたのは、まだとても若い頃だったのだから。

少なくとも、僕はヴァイオリンコンチェルトに関しては後者の考えだ。

ただし、モーツァルトと同じだけ天才的な才能がある人がね。

今回のソリストは平均 22 才だ。

僕は 57 才。では何故モーツァルトを指揮したりするのだ？

ははは。精神年齢だけは低いのかもかもしれないし、ただ若い心が欲しいからかも。

井上道義

井上道義 Michiyoshi INOUE (指揮)

1946 年東京生まれ。桐朋学園にて齋藤秀雄氏に師事。71 年イタリアミラノ・スカラ座主催グイド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝し、一躍内外の注目を集め、国際的な活動を開始した。これまでに、ニュージーランド響、新日本フィル、京響の音楽監督を歴任するほか、シカゴ響やロイヤル・フィル、ベルリン、ハンブルク、シュトゥットガルト、バーデンバーデンの各放響、ミュンヘンフィル、ドレスデンフィル、フランス国立管、レニングラード響などを指揮。第 9 回中島健蔵音楽賞、フランス政府より芸術文芸勲章(シュバリエ賞)など数々の賞を受賞している。99～2000 年、マーラーの交響曲全曲演奏会を新日本フィルと行い「日本におけるマーラー演奏の最高水準」と高く評価された。00 年より 3 シーズンにわたって新日本フィル首席客演指揮者を務めた。



枝並千花 Chika Edanami / (10/23) ヴァイオリン協奏曲第1番

4歳よりヴァイオリンを始める。1998年、第52回全日本学生音楽コンクール中学生の部全国大会第1位。99年、グランプリコンサートin福岡出演。2000年、ミレニウム「ニュークラシックオーディション」入選。01年日本モーツァルト音楽コンクールヴァイオリン部門第3位入賞。02年、桐朋女子高校音楽科卒業。卒業演奏会出演。03年、ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール優勝。併せてソナタ賞受賞。ミラノにて受賞コンサート出演。04年、年初リサイタルを開く。奥村和雄、辰巳明子各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン科3年在学中。

田代裕貴 Yuki Tashiro / (10/24) ヴァイオリン協奏曲第2番



1984年生まれ。千葉県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。99年、全日本学生音楽コンクール東京大会・高校生の部で奨励賞受賞。2002年、桐朋女子高校音楽科卒業演奏会に出演。トーマス・ブランディス、ザハール・ブロン、ドラ・シュバルツベルグ、竹澤恭子の各氏のマスタークラスを受講。これまでに古谷達子、古谷いづみ、小林健次の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部ヴァイオリン科3年在学中。

内山優子 Yuko UCHIYAMA / (10/23) ヴァイオリン協奏曲第3番



3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高校音楽科を卒業後、渡英。ロンドン・ギルドホール音楽院にて、ヴァイオリンを故イフラ・ニーマン氏に、作曲をロバート・サクストン氏に師事。1997年、イフラ・ニーマン国際ヴァイオリンコンクール2位、JILA音楽コンクール1位。2001年、クリーブランド音楽院からスカラシップを得、02年同音楽院修士課程修了。これまでに、ロンドンにてマイラ・ヘス財団賞、エミリー・イングリッシュ財団賞、英国笹川財団賞を、アメリカにてユービー・ブレイク財団賞を受賞。02年チャイコフスキー国際コンクール、セミファイナリスト。03年ワシントン国際弦楽器コンクール2位。これまでに、石井志都子、堀正文、ドナルド・ワイラースタインの各氏に師事。02年より文化庁在外研修員としてボストン・ニューイングランド音楽院にて研鑽を積んだ。



梁 美沙 Mi-Sa YANG / (10/23) ヴァイオリン協奏曲第 5 番

1987 年大阪に生まれる。2000 年、メニューイン国際ヴァイオリンコンクールジュニア部門で第 1 位受賞。01 年、第 1 回仙台国際音楽コンクール第 3 位、併せて審査委員特別賞受賞。02 年、第 22 回音楽クリティック・クラブ奨励賞を、また大阪市より咲くやこの花賞を授与される。12 歳でパガニーニのヴァイオリン協奏曲第 1 番を外山雄三氏指揮、仙台フィルと協演して以来、ロンドン・モーツァルト・プレーヤーズ、大阪センチュリー、大阪フィル、関西フィル、京響、新日本フィル等と協演を重ねる。03 年はチェコで開催された国際音楽祭ヤング・プラハに招待され、オープニングコンサートでスーク室内管弦楽団とチャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲を協演、他 3 都市で演奏会を行った。現在、小栗まち絵、工藤千博、ジャン・ジャック・カントロフの各氏に師事。相愛高校音楽科に在学中。

ダニエル・ギャリツキー



* 第 4 番にソリストとして予定しておりました岩谷祐之は都合により出演が不可能となりました。代わってフランス在住のダニエル・ギャリツキー(22 歳)が出演します。

【公演概要】

第11回神奈川国際芸術フェスティバル参加

神奈川県立音楽堂開館50周年記念 シリーズ《円熟から明日へ》

井上道義の上り坂コンサート

10代のモーツァルト～ヴァイオリン協奏曲《第1～5番》全曲演奏

井上道義(指揮)

10月23日(土) 14:00 開演

- ・交響曲第29番 イ長調 Kv.201
- ・ヴァイオリン協奏曲第1番 変ロ長調 Kv.207
独奏:枝並千花
- ・ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 「トルコ風」
Kv.219
独奏:梁美沙

管弦楽:桐朋学園オーケストラ

10月24日(日) 14:00 開演

- ・歌劇「見てくれのばか娘」序曲
- ・ヴァイオリン協奏曲第2番 二長調 Kv.211
独奏:田代裕貴
- ・ヴァイオリン協奏曲第3番 ト長調 Kv.216
独奏:内山優子
- ・ヴァイオリン協奏曲第4番 二長調「軍隊」Kv.218
独奏:ダニエル・ギャリツキー

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

・ ともに 13:00 開場 13:30～ プレトーク

海老澤敏(モーツァルト研究家) & 井上道義

[出演者・曲目は変更になる場合がございます]

未就学のお子様のご入場はご遠慮ください

チケット・お問合せ 一般:3,500円 学生・シルバー(60歳以上):2,800円[数に限りがございます]
(全席指定) ・ 両公演セット5,000円

音楽堂チケットセンター 045-263-2255 / 県民ホールチケットセンター 045-662-8866

(かながわアーツ倶楽部会員は、一般、学生・シルバー券が各1割引)

主催 神奈川県立音楽堂〔財団法人神奈川芸術文化財団〕

助成 芸術文化振興基金

後援 神奈川新聞社、tvk、NHK 横浜放送局、朝日新聞横浜総局

交通のご案内

神奈川県立音楽堂 <http://www.kanagawa-ongakudo.com>

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 Tel:045-263-2567 Fax:045-243-6216

- ・JR京浜東北線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅/京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩10分
- ・横浜市営バス「横浜駅東口バスターミナル」乗車8,20,26,58,105,110,127系統「紅葉坂」、103系統「戸部一丁目」バス停から徒歩5分
- ・みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分

本公演の担当・公演に関するお問合せ

統括:プロデューサー 桜井健二

担当:中野仁詞 浦上真紀 青木孝生